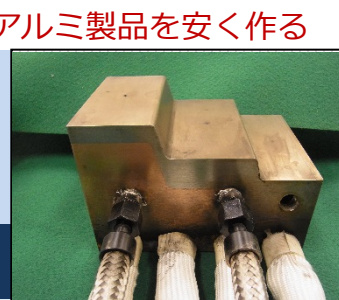


冷却効率の高いダイカスト金型の開発



～ アルミニウムダイカスト品の高品質・低コスト化 ～

連携機関 | 株式会社積層金型

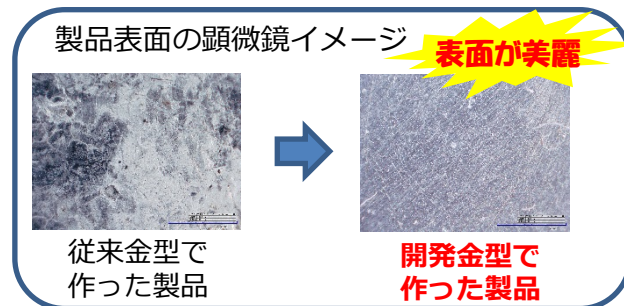
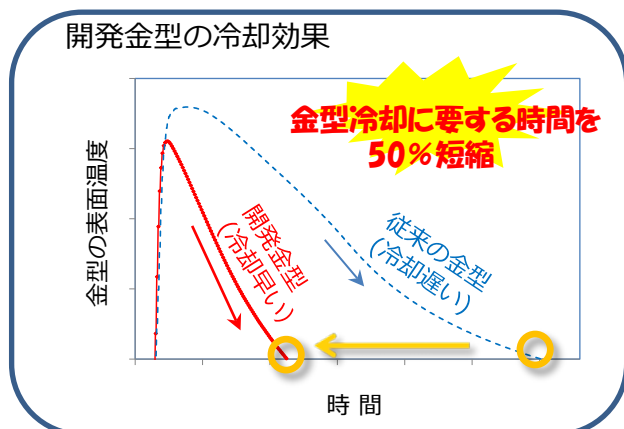
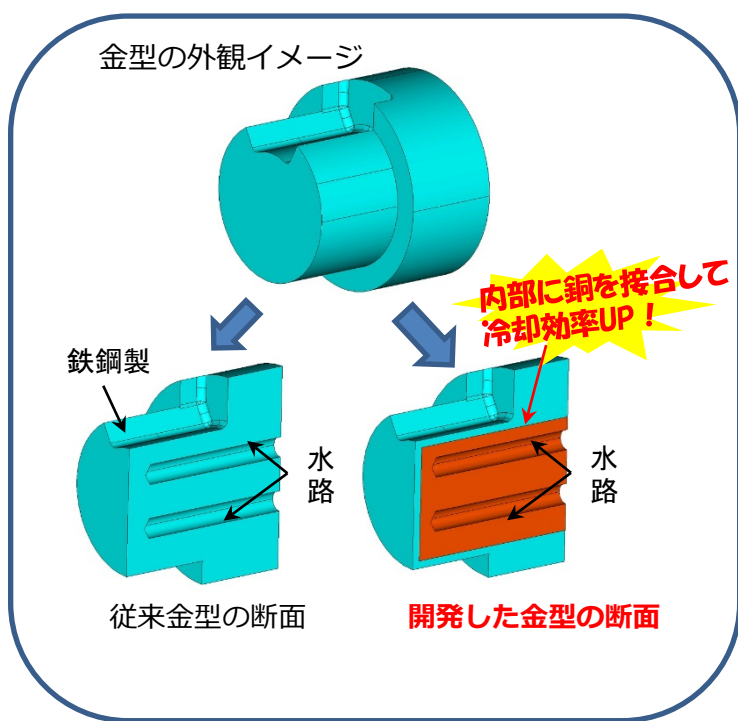
研究期間 | 平成22～24年度[県費研究(開発研究)]

研究開発のきっかけ

- ◆ 溶けたアルミニウム合金を金型の中で固めて製品を作るアルミダイカストでは、金型を早く冷やすことで①生産時間の短縮による低コスト化、②型離れ性の向上による製品の品質化、のメリットがあります。
- ◆ そのため、金型を効率よく冷却する方法の開発が強く望まれていました。

研究成果の概要

- ◆ 従来は鉄鋼製だった金型の内部に熱をよく伝える銅を接合し、冷却効率が高い金型を開発しました。
- ◆ 金型の冷却時間を50%短縮できました。
- ◆ 離型性が向上し、美しい表面の製品が作製できました。



研究成果の活用状況

知財化の取組 | 「 casting device, manufacturing method of the casting device and manufacturing method of the casting product » (特願2012-218589) として特許出願中(共願特許)

※本件知財権の実施には、特許共有権者の同意も必要です。

- ◆ 国内複数社へ試作型を納入しています。現在は、量産型への採用を目指し取組中です。
- ◆ アルミダイカスト製品は自動車に多く使われており、自動車の低コスト化・競争力強化につながります。

※上記を実施するときには、関係する知的財産権の確認が必要となります。

問い合わせ先 | 西部工業技術センター 技術支援部 | TEL 0823-74-1151